

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
(仮称)舞鶴SC 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q1 建築物の環境品質</b>						<b>3.0</b>
<b>Q1-1 室内環境</b>			0.40			<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		2.6	0.15			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽衝撃源)						
4 界床遮音性能(重衝撃源)						
1.3 吸音		1.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		3.1	0.35			3.1
2.1 室温制御		4.0	0.50			
1 室温	空調の導入し、切り替えにより個別に制御できるようにも対応して	5.0	0.50			
3 外皮性能		3.0	0.17			
4 ソーン別制御性		3.0	0.33			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
<b>3 光・視環境</b>		3.0	0.25			3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.50			
1 屋光率						
2 方位別開口						
3 屋光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策						
2 屋光制御						
3.3 照度						
3.4 照明制御		3.0	0.50			
<b>4 空気質環境</b>		4.0	0.25			4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学汚染物質	建物全体にほぼ☆☆☆☆を採用している。	5.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.50			
2 自然換気性能						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50			
2 喫煙の制御	建物内が喫煙不可であり、屋外に灰皿等の設置もしていない。	5.0	0.50			
<b>Q2 サービス性能</b>			0.30			<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		3.5	0.40			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性						
2 高度情報通信設備対応						
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30			
1 広さ感・景観	天井高さを3.6m以上確保している。	5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
1.3 維持管理		4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計	維持管理の異なる床材を併用しておらず、外部にはメッキ処理等	4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保	建物内にゴミ置場の設置や、モップを洗えるSK室を完備してい	4.0	0.50			
2 <b>耐用性・信頼性</b>		3.0	0.31			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			

2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29		-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31		-	
1	階高のゆとり	天井高を売場で3.6m以上確保する為、ゆとりのある階高としている	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	天井内に配線している為、建物機能を維持したまま更新、修繕可	3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.6
LR1 エネルギー				0.40			4.0
1 建物の熱負荷抑制		屋根面すべてにガラスウールt100 16Kを敷設している。	4.0	0.30		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルの設置。	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			5.0	0.30		-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRIによる評価)		ERR=55%	5.0			-	
集合住宅の評価						-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.3
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63		-	3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	再生砕石	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	分別が容易にできるようになっている。	5.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
1	消火剤					-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量が55%	4.7	0.33		-	4.7
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車台数及び駐輪台数の確保をしている。	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	